



# 演奏会がもたらす効果

## ＊人とのつながりができる場所＊

演奏会は、参加者が共に音楽を鑑賞し感動を共有できる場所です。一体感のある空間だからこそ観客同士や演奏者とのコミュニケーションを深めることができます。演奏会をきっかけに顔見知りが増え、地域社会とのつながりを深めることができる良い機会です。

## ＊さまざまなジャンルの音楽を楽しめる＊

演奏会ではさまざまなジャンルの曲を体験することができます。馴染みのある曲はもちろんですが、普段はなかなか触れることのない新たなジャンルの音楽を知るきっかけにもなります。今回のランチタイムコンサートもジャンルの幅が広いので、新たな一曲に出会えるかもしれません。

## ＊薬としての音楽＊

「心地よい音楽を聴くと、人の脳内のセロトニンとドーパミンの分泌レベルが上がり、実際に肯定的な気持ちへの変化につながるということが科学的に照明されている」そうです。

※セロトニン…幸せホルモン、ドーパミン…やる気ホルモン

《参考文献》

セロトニンに関しては以下を参照:S.Evers and B.suhr,"Changes in Neurotransmitter Serotonin but Not of Hormones during Short Time Music Perception." European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience,no.250(2000):144-147;ドーパミンに関しては以下を参照V.Menon and D. Levitin,"The Rewards of Music Listening:Response and Physiological Connecntivity in the Mesolimbic System,"Neuroimage 28(2005):175-184.

「引用内容」(ジョン・パウエル, 2017, P101)再引用

## useful information ♪

ここで、当日演奏予定の1曲について少しご紹介します。

やなせ たかしさん作曲／木下 牧子さん作詞の「さびしいカシの木」です。

耳馴染みがよく、心地よいメロディーでこの曲のファンの方はたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

この曲には、遠くで亡くなってしまった父親への思い、会えなくなってしまった母親への思い、悲しみを背負いながらも、ほほえんでいるやなせさん自身が歌詞に表現されているのだとか。実際のところはわかりませんが、こんな意味が込められていると思いながら演奏を聴くと涙が止まらないかもしれませんね。

1. 山の上のいつぼんの

さびしいさびしい

カシの木が

とおくの国へいきたいと

空ゆく雲にたのんだが

雲は流れて

きえてしまった

2. 山の上のいつぼんの

さびしいさびしいカシの木が

私といつしょにくらしてと

やさしい風にたのんだが

風はどこかへ

きえてしまった

3. 山の上のいつぼんの

さびしいさびしい

カシの木は

今ではとて年もとり

ほほえみながら立っている

さびしいことに

なれてしまった

